東京理科大学・こうよう会

佐賀県支部だより　（平成25年度・佐賀県支部作成）

平成25年度東京理科大学こうよう会佐賀県支部企画行事として、「健康維持と老化防止」をテーマにした講演会を開催しました。こうよう会会員の年齢が中年期を過ぎたことで、「健康で、いつまでも若く充実した生活を送りたい」と願う年齢に達したことから、このテーマに合うような研究をされている先生に講演をお願いしました。

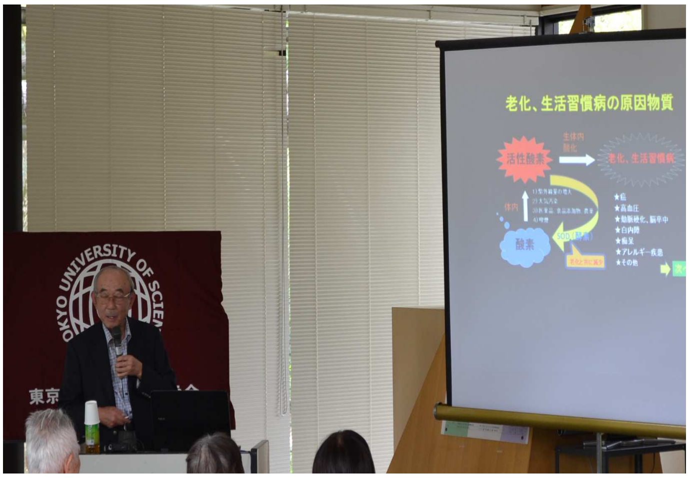
開催日時　平成25年10月19日(土)　13:00～19:30
場　所　佐賀市徐福長寿館・薬用植物園など

2,200年前に秦の始皇帝の命を受け、不老不死の仙薬を求めて旅に出た徐福伝説の地、及びその資料館です。時空を超えた壮大なロマンが漂うなかで、講演会・薬草観察会を開催しました。

当日は、来館された一般の方々にも講演会へご参加いただけるように解放し、盛況のうちに終えることができました。

第1部　演題：「老化と生活習慣病に効く身近な薬草について」13:00～14:30
講師：ウサイエン製薬株式会社 代表取締役　野中 源一郎 先生

先生は会社経営の傍ら、抗酸化物質の一種であるポリフェノール、タンニン等を研究されている著名な学者であり、その研究のなかで効果が有る、私たちの身近な食べ物について講演してくださいました。佐賀の特産物であるレンコンの効用や、緑茶の効用について、分り易くユーモアを交えての講演でした。特にお茶のタンニンの効用については、『渋み』の効果を強調されていました。身近な食物が、健康、老化防止の薬草であることから、大変参考になる講演でした。



第 2 部　演題：「健康寿命延伸のために」 14:45～16:15
講師：東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科 教授　樋上 賀一 先生

老化のメカニズムについて、細胞や組織の構造や機能から老化にともなうその変化までを説明してくださいました。老化を防止する上で、脂肪組織の機能を改善することが重要であること、またそのためには腹八分目の食事と適度な運動が重要であることを説かれ、今後の健康生活を維持していく上で役に立つ内容でした。

第 3 部　薬草観察会　16:15～17:00

徐福長寿館の館長の案内により、薬草園の観察を行いました。徐福が不老長寿の薬草として探し出したと言い伝えられている「フロフキ」等の珍しい薬草や、身近な薬草とその効用について説明を受けました。

フロフキ

樋上先生が熱心に観察されています。

支部行事記念の全体写真です。

中央が樋上先生で、それをこうよう会会員９名で囲んでいます。

第４部　懇親会　17:30〜19：30

先生を囲んでの懇親会を行いました。健康が気になる年代であることから、講演内容についての質問等で盛り上がりました。また東京理科大学の学生についても、勉学に取り組む姿勢や、学生生活の現状、及び学生の気質等について、直にお聞きする事ができました。

和気あいあいと、楽しく有意義な時間を過ごせました。

以上

≪編集後記≫

佐賀県支部行事として毎年講演会を開催しています。今年度は、会員の健康を願って「健康」と「老化」をテーマにして、徐福長寿館様の協力で開催できました。この講演を聴講したことで、今後も健康な生活を送っていただきたいです。また、当日徐福長寿館に来館されていた一般の方々も、熱心にノートを取られ、大変参考になったという感想を述べられました。その意味では東京理科大学、及びこうよう会の宣伝につながったと思っています。

今年度、参加を見合わされた会員の方々も、こうよう会佐賀県支部は、今後もいろいろ企画を立てて活動してまいりますので、是非ご参加ください。お待ちしております。

（佐賀県支部長　記）